

第10回 東海大学

丹沢湘南観光交流フォーラム



【テーマ】丹沢湘南地域への来訪者特性と観光活性化

近年多くの外国人観光客が日本を訪れています。2020年には東京オリンピック・パラリンピックを契機としてさらに多くの外国人観光客が訪日することになると予測されています。しかし現在、丹沢湘南地域を訪れる観光客は日本人に限っても多くはないといった実態があります。日本固有の観光資源を有する丹沢湘南地域では、今後どのように観光の活性化を進めていくべきでしょうか。

基調講演では、雪国での観光広域連携によって地域の活性化を推進し、これまでに数多くの受賞歴を有するフジノケン氏のお話を伺います。また神奈川県ビッグデータを用いた観光動向調査や、本学観光学部で実施した東京都民及び神奈川県民を対象とする1000人規模の調査結果を紹介します。

パネルディスカッションでは、本学教員のほかに観光関係者の方々にもパネリストとしてご登壇いただき、ご来場の皆様とともに議論を深めます。

開催 2018年2月3日(土) 14時開会

基調講演 フジノケン氏 ((株)4CYCLE クリエイティブ・ディレクター)

『コンセプトを明確化した観光広域連携』

【フォーラム】場所：タウンニュースホール 3階

(小田急東海大学前駅南口を左に出て徒歩1分)

○13:30 受付開始

●14:00 開会 司会進行 遠藤晃弘 (東海大学観光学部講師)
挨拶・趣旨説明 松本亮三 (東海大学観光学部教授)

●14:05 ~ 15:00 基調講演 フジノケン (上記)

『コンセプトを明確化した観光広域連携』

●15:00 ~ 15:30 話題提供 栗原剛 (東海大学観光学部講師)
『神奈川県の調査結果に基づく外国人観光客動向の概要』

●15:30 ~ 16:00 話題提供 屋代雅充 (東海大学観光学部教授)
『都民および神奈川県民の趣向・性向と観光実態の概要』

○16:00 ~ 16:10 休憩 (10分間)

●16:10 ~ 17:00 パネルディスカッション (会場参加者との質疑応答を含む)

【テーマ】丹沢湘南地域への来訪者特性と観光活性化

コーディネーター 屋代 雅充 (上記 話題提供者)

パネリスト フジノケン (上記 基調講演者)

古住 博 (大山観光電鉄株式会社 総務課長・事業課長)

勅使川原 千春 ((一社) 秦野市観光協会 専務理事)

藤本 祐司 (東海大学観光学部教授)

栗原 剛 (上記 話題提供者)

●17:00 総括・閉会挨拶 岩橋伸行 (東海大学観光学部教授・観光学部長)

○17:05 ~ 17:15 アンケート記入・交流会会場案内



【交流会】17:30 ~ 19:00 タウンニュースビル内

■主催:東海大学 観光学部 ■協力:丹沢湘南観光連携会議 ■参加費:無料 ■定員:約150名 ■参加申込:不要

【前々日16時までの問合せ】 東海大学 湘南キャンパス 0463-58-1211 内線3951 観光学部事務室

●駐車場が不足する恐れがありますので、公共交通機関でのご来場をお勧めします。

第10回 東海大学 丹沢湘南観光交流フォーラム



【テーマ】丹沢湘南地域への来訪者特性と観光活性化

開催：2018年2月3日（土）14:00 開会
タウンニュースホール（小田急東海大学前駅南口を左に出て徒歩1分）

■開催趣旨

2010年4月に東海大学観光学部が設置され、8年が経過しようとしています。このフォーラムは観光学部設置の先駆けとして2007年度にスタートしました。大学周辺に位置する丹沢湘南地域の市町間での観光連携や魅力ある地域づくりについて考えるため、有識者を招いて有用な話題やヒントを提供していただき、意見交換の場として開催して参りました。

今回は「丹沢湘南地域への来訪者特性と観光活性化」をテーマとしました。基調講演では、雪国での観光広域連携によって地域の活性化を推進し、これまでに数多くの受賞歴を有するフジノケン氏に、コンセプトの明確化による観光広域連携についてお話しいただきます。

本学部では、2014年度から丹沢湘南地域のインバウンド観光の推進を目指して、学生たちとともに丹沢湘南観光連携会議*の協力を得ながら、外国人向けの観光バスツアーを実践し、外国人にとって魅力を感じる観光体験の内容を把握してきました。さらに昨年度は都内に滞在する訪日外国人をどのようにして丹沢湘南地域に誘致するのがよいのかを探るため、高尾山を訪れた外国人205名に対して現地で面接アンケートを実施しました。

話題提供では観光学部教員が神奈川県調査結果に基づく外国人観光客動向の概要とともに、独自調査による都民および神奈川県民の趣向・性向と観光実態の概要を紹介し、これらを踏まえてパネルディスカッションでは「丹沢湘南地域への来訪者特性と観光活性化」について、地域の観光振興を実践されている方を含め、ご来場の皆様とともに議論を深めていきたいと考えます。

地域の暮らしやまちづくり、観光振興、景観形成、文化事業、商業振興、農業振興、地場産業振興等に関心を持たれている多くの方々のご参加をお待ちしております。

* 東海大学観光学部が幹事となって運営しており、丹沢湘南地域に属する自治体が広域連携することによってより魅力的な観光の振興を図ることを目的に、実践的な試みを重ねている。参加団体は、平塚市、一般社団法人平塚市観光協会、秦野市、一般社団法人秦野市観光協会、伊勢原市、一般社団法人伊勢原市観光協会、一般社団法人厚木市観光協会、大磯町、二宮町、中井町、神奈川県湘南地域県政総合センター、大山観光電鉄(株)、NPO法人湘南ウェディングサポート、東海大学観光学部(2018年2月1日現在)。



■基調講演者プロフィール

フジノケン（株式会社4CYCLE クリエイティブ・ディレクター）

1969年生まれ。千葉大学工学部工業意匠科卒。(株)読売広告社クリエイティブ局勤務を経て、2007年に新潟県津南町に移住。2008年10月(株)4CYCLEを設立。新潟県津南町を拠点に、日本の地方を世界へ発信することを目指して、雪国観光圏や全国観光圏“Undiscovered Japan”などのブランドづくりを担う。2017年に松之山温泉温泉整備計画でグッドデザイン賞を受賞した。観光庁観光地域づくりマネージャー／雪国観光圏ブランドマネージャー／苗場山麓ジオパーク振興協議会委員など

【主な受賞歴】グッドデザイン賞2017／ACC CM FESTIVALシルバー／アジア太平洋広告祭(アドフェスト)ブロンズ／東京インタラクティブアワード銅賞／ポスター広告電通賞／全国カレンダー展特別賞／日独カレンダー展銅賞／日本雑誌広告賞／青山デザインアワード入賞など



■主催：東海大学 観光学部 ■協力：丹沢湘南観光連携会議 ■参加費：無料 ■定員：約150名 ■参加申込：不要

【前々日16時までの問合せ】 東海大学 湘南キャンパス 0463-58-1211 内線3951 観光学部事務室

●駐車場が不足する恐れがありますので、公共交通機関でのご来場をお薦めします。